ペット質問箱

誤食が多い犬。対策は？

三つの管理でリスク減らす

問　わが家の犬はよく誤食をしてしまい困っています。誤食しないように飼い主ができることはありますか？

答　犬の誤食を防ぐために家庭でできる対策は、環境管理・行動管理・健康管理の三つの管理が中心となります。

まず環境面では、犬が口にしやすいものを「物理的に触れられない状態」にすることが重要です。薬、ボタン、子どものおもちゃ、ティッシュ、電池などが代表例ですが、チョコレート、ネギ類、キシリトール製品などは少量でも危険性が高いため、保管場所を徹底管理してください。低い棚や床に置かないようにしたり、ゴミ箱をふた付きやロック式のものに変えたり、台所に犬が入れないよう柵を設置したりすることで安全性が高まります。

次に行動面では、犬が「拾い食いをしない習慣」を身につけることが予防につながります。散歩中に拾い食いをしやすい犬には、口輪の使用やリードを短めに持つのが有効です。また、家の中でも「落ちている物に近づかない」「指示があれば離す」といったトレーニングを日常的に行うことで、誤食リスクを大きく減らせます。

健康面では、空腹やストレスが誤食を誘発することもあるため、適切な食事量と規則正しい生活を心がけることが大切です。特に若齢犬や好奇心旺盛な性格の犬は誤食しやすいため、家族全員でルールを共有して生活管理をしていくことが予防の鍵となります。

一方、高齢犬の場合は基礎疾患の影響で食欲増進が起きている可能性もあり、注意が必要です。

それでも万が一誤食してしまった場合は、すぐに病院に連れていき、しかるべき処置をしてもらってください。誤食をする子は何度も繰り返します。少しでも減らせるように家での対策をしっかり立てましょう。（山田輝貴・県獣医師会員）

＜月１回掲載します＞

ペットに関する素朴な疑問や健康、飼い方についての質問をお寄せください。〒422－8670　静岡新聞社編集局「ペット質問箱」係へ。Ｅメール＜seikatsuhoudou@shizuokaonline.com＞や、右のＱＲコードで投稿フォームからも送信できます。全てにはお答えできず、直接回答もしかねますがご了承ください。